

浜の活力再生プラン
(第 2 期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	西鳥取地域水産業再生委員会 ID : 1121015
代表者名	会長 相良 康隆

再生委員会の構成員	西鳥取漁業協同組合・阪南市農林水産課
オブザーバー	NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事：岩井克巳

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	<p>阪南市西鳥取漁港区域</p> <p>底曳網（3）・船曳網（2）・刺網（12）・定置網（1）</p> <p>カゴ漁（13）・海苔養殖（2）・ワカメ養殖（3）・流し網（4）</p> <p>：漁業者数：27名</p> <p>*各魚種兼業、重複あり。</p>
-----------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当地区は大阪湾南部の阪南市に位置し、古くからは「波有手（ぼうで）」という地名でいまだに呼ばれる事も多く、近隣に旧家が多数残る歴史の香り漂う地域です。</p> <p>近年、大阪湾全体の資源量減少と符合して低迷している水揚げ高を打開するため、前期浜プランには、収入源として着目したカキの養殖に取り組み、生産から調理、販売までの実践的な取り組みの場として「ぼうでのカキ小屋」を組合員が協力して運営した。</p> <p>また、販売促進 PR にも力を注ぎ、集客にも一定の効果を得ることが出来、年々訪れてくれる人が増加している。</p> <p>しかし、個々の漁業活動（のり養殖・ワカメ養殖）との両立を前提とした労力等の制約から支障が生じ始めている。</p> <p>このため「ぼうでのカキ小屋」については NPO、民間企業など他の機関との共同運営も視野に入れ、事業の拡大に向けた運営方法の検討を進めている。</p> <p>また、カキの糞等で養殖筏直下の底質の悪化の懸念や、近年大阪湾に発生する貝毒が年々発生時期が早くなり、「ぼうでのカキ小屋」を営業する時期に影響を受けるようになるなど、あらたな問題が発生しており、漁場環境保全と両立したカキ養殖について検討・実践が重要であると考えている。</p>

(2) その他の関連する現状等

- ・氷小屋の老朽化により、氷の供給能力が低下している。
- ・地元小学校、NPO と協力し、アマモ場保全、再生活動に取り組んでいる。
- ・カキ、ワカメ、のり養殖体験漁業をし、地域との交流を深めている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○観光との連携に向けた取組

- ・漁協は、1期で成果の出ているカキ小屋を継続する。
- ・カキ・ワカメ・ノリなどの無給餌養殖において、カキ養殖作業（稚貝の種付け、収穫、カキ割り）やワカメ養殖作業（種糸付け、収穫）、ノリ養殖作業（ノリ漉き）などの体験型観光漁業との連携を図る。
- ・カキ小屋や体験漁業を通じて、港のPRをし、漁港内で旬の魚や加工品を販売する。
- ・新たな観光漁業の取り組みとし「すだて遊び」に着目。カキシーズン以外の事業の確立を目指す。また、多種多様な漁業種類を活かし、底曳網漁や定置網漁などの観光資源化も図る。
- ・漁業者とNPO、企業等の連携により、多くの顧客の確保と、多様な技術や経営方法を学び収益向上を目指す。
- ・漁協は、観光漁業を充実させることにより、新たな仕事を生み出し漁業収入を安定させ、新規就業者の確保に繋げる。

○地域に根ざした漁港

- ・漁協は、地元小学校が推進する海洋教育（アマモ場保全・再生、漁業体験、漁業の伝承）への協力を継続する。

○老朽化した漁港施設の整備

- ・漁協は、魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。

○漁場環境保全・資源管理の取り組み

- ・漁協は、NPOや大阪府立大学と連携して、カキ殻の再利用によるナマコの生息環境創造および、岡山県東部の日生町漁協でも効果が確認されているカキ筏周辺の底質環境改善効果について検討・試験を行うとともに、企業による環境改善技術や漁場改善技術などの実証試験に協力する。また、NPOと連携して、貝毒プランクトンの増殖抑制効果が

期待できる殺藻細菌を多く有すると言われていたアマモ場の保全・再生を継続する。

○漁業コスト削減のための取組

・漁業者は、燃油削減の為に計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネ機器の導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。また、新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

漁業法および大阪府漁業調整規則による規則の遵守、自主的な資源管理の遂行などに積極的に取り組み漁業資源の維持、安定化に努める。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和3年度） ※目標：漁業所得3%減

漁業収入向上のための取組	<p>○観光との連携に向けた取組</p> <p>漁協は次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">● NPO、企業と連携してカキ小屋を共同運営することで、個々の漁業活動と両立する。● カキ小屋を拠点とした水産物や加工品の販売、カキの出荷を行う。また、カキ小屋オフシーズンにおける水産物や加工品の販売や飲食の提供について検討する。● 無給餌養殖の内、カキについて作業体験プログラムを作成し、プログラムを付加した「オーナー制」による販売を行う。● 新たな観光漁業の取り組みとしての「すだて遊び」の先進地（千葉県木更津市）視察を行い、漁業方法や知識を学ぶとともに、実装に向けた具体的な整備計画を作成する。● 新たな観光漁業の取り組みとしての「観光底曳網漁」、「観光定置網漁」について、他地域の事例などを調査し、実施に向けた検討を行う。 <p>○地域に根ざした漁港</p> <p>漁協は次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">● 地元小学校が取り組む海洋教育に協力する。● NPO と連携して、アマモ場保全・再生活動や海岸清掃などの環境保全活動を行う。 <p>○漁場環境保全・資源管理の取り組み</p> <p>漁協は次の取組を行う。</p>
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO や大阪府立大学と連携して、カキ殻を再利用したナマコ生息環境創造、カキ筏周辺の底質環境改善について検討する。 <p>○老朽化した漁港施設の整備 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者は、燃油削減の為計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネルギー機器の導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。 <p>これらの取組により漁業コストを0.1%削減する。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 省燃油活動推進事業（国）</p>

2年目（令和4年度） ※目標：漁業所得0%向上

漁業収入向上のための取組	<p>○観光との連携に向けた取組 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● NPO、企業と連携してカキ小屋を共同運営することで、個々の漁業活動と両立する。 ● カキ小屋を拠点とした水産物や加工品の販売、カキの出荷を行う。また、カキ小屋オフシーズンにおける水産物や加工品の販売や飲食の提供を行っていく。 ● 無給餌養殖の内、カキについての「オーナー制」による販売を継続・拡大する。またワカメやノリについての体験プログラムを作成し、プログラムを付加した「オーナー制」による販売を行う。 ● 新たな観光漁業の取り組みとしての「すだて遊び」の整備計画に基づき、組合員が協力して港内の整備を行うとともに、試験的に実施して、課題や改善策を検討する。 ● 新たな観光漁業の取り組みとしての「観光底曳網漁」、「観光定置網漁」について、先進地の視察を行い、実装に向けた具体的な計画を作成する。 <p>○地域に根ざした漁港 漁協は次の取組みを行う。</p>
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校が取り組む海洋教育に協力する。 ● NPO と連携して、アマモ場保全・再生活動や海岸清掃などの環境保全活動を行う。 <p>○漁場環境保全・資源管理の取り組み 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ殻を再利用したナマコ生息環境創造、カキ筏周辺の底質環境改善について、試験的に実施し、モニタリングを行う。 <p>○老朽化した漁港施設の整備 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者は、燃油削減の為計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネ機器の導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。 <p>これらの取組により漁業コストを0.3%削減する。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 省燃油活動推進事業（国）</p>

3年目（令和5年度） ※目標：漁業所得7%向上

漁業収入向上のための取組	<p>○観光との連携に向けた取組 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● NPO、企業と連携してカキ小屋を共同運営することで、個々の漁業活動と両立する。 ● カキ小屋を拠点とした水産物や加工品の販売、カキの出荷、カキ小屋オフシーズンにおける販売や飲食提供を行う。阪南市と連携して、ふるさと納税などの返礼品としての出荷を行う。 ● 無給餌養殖の「オーナー制」による販売を継続・拡大する。 ● 新たな観光漁業の取り組みとしての「すだて遊び」のマニュアルを作成し、実施する。 ● 新たな観光漁業の取り組みとしての「観光底曳網漁」、「観光定置網漁」について、試験的に実施して、課題や改善策を検討する。 <p>○地域に根ざした漁港</p>
--------------	---

	<p>漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校が取り組む海洋教育に協力する。 ● NPO と連携して、アマモ場保全・再生活動や海岸清掃などの環境保全活動を行う。 <p>○漁場環境保全・資源管理の取り組み</p> <p>漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ殻を再利用したナマコ生息環境創造、カキ筏周辺の底質環境改善について、モニタリングを継続し、課題の抽出・改善を行う。 <p>○老朽化した漁港施設の整備</p> <p>漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者は、燃油削減の為計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネルギーの導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。 <p>これらの取組により漁業コストを0.3%削減する。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業セーフティネット構築事業（国）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</p> <p>省燃油活動推進事業（国）</p>

4年目（令和6年度） ※目標：漁業所得8%向上

漁業収入向上のための取組	<p>○観光との連携に向けた取組</p> <p>漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ小屋の共同運営を継続し、安定経営につなげる。また、カキの滅菌処理装置を導入し、ブランド化に向けた品質向上およびPRを進める。 ● カキ小屋を拠点とした水産物や加工品の販売、カキの出荷、カキ小屋オフシーズンにおける販売や飲食提供を行う。阪南市と連携して、ふるさと納税などの返礼品としての出荷を行う。 ● 無給餌養殖の「オーナー制」による販売を継続・拡大する。 ● 旅行会社と連携して、「すだて遊び」をメインとした観光商品化を図る。 ● 「観光底曳網漁」、「観光定置網漁」について、マニュアルを作成し、
--------------	--

	<p>実施する。</p> <p>○地域に根ざした漁港 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校が取り組む海洋教育に協力する。 ● NPO や地元小学校と連携して、アマモ場保全・再生活動や海岸清掃などの環境保全活動を行う。 ● NPO が実施する魚食普及活動に参加し、漁業や水産物を一般市民に広く PR する。 <p>○漁場環境保全・資源管理の取組み 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ殻を再利用したナマコ生息環境創造、カキ筏周辺の底質環境改善技術について、モニタリングを継続する。また、本格的な展開に向けた調整を行う。 ● 阪南市が推進する「ブルーカーボン・オフセット制度」に協力するとともに、アマモを含めた藻場による CO2 削減の研究事業に協力する。 <p>○老朽化した漁港施設の整備 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者は、燃油削減の為計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネルギーの導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。 <p>これらの取組により漁業コストを0.5%削減する。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 省燃油活動推進事業（国）</p>

5年目（令和7年度） ※目標：漁業所得10%向上

漁業収入向上のための取組	<p>○観光との連携に向けた取組 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ小屋の共同運営を継続し、安定経営につなげる。また、「波有手（ぼうで）のカキ」としてのブランドを確立する。
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ● カキ小屋を拠点とした水産物や加工品の販売、カキの出荷、カキ小屋オフシーズンにおける販売や飲食提供を行う。阪南市と連携して、ふるさと納税などの返礼品としての出荷を行う。 ● 無給餌養殖の「オーナー制」による販売を継続・拡大する。 ● 「すだて遊び」をメインとした体験型観光ツアーを定期開催する。 ● 「観光底曳網漁」、「観光定置網漁」について、マニュアルを作成し、実施する。 <p>○地域に根ざした漁港 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校が取り組む海洋教育に協力する。 ● NPO や地元小学校と連携して、アマモ場保全・再生活動や海岸清掃などの環境保全活動を行う。 ● NPO が実施する魚食普及活動に参加し、漁業や水産物を一般市民に広く PR する。 <p>○漁場環境保全・資源管理の取り組み 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カキ殻を再利用したナマコ生息環境創造、カキ筏周辺の底質環境改善技術をカキ筏周辺に展開する。 ● 阪南市が推進する「ブルーカーボン・オフセット制度」に協力するとともに、アマモを含めた藻場による CO2 削減の研究事業に協力する。 <p>○老朽化した漁港施設の整備 漁協は次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚の鮮度保持のため、老朽化した製氷機に新しい製氷機を導入する事により氷の安定供給が出来るようにする。結果、魚の品質向上に繋がる。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業者は、燃油削減の為計画的な船底清掃の推進や減速航行、省エネ機器の導入、漁業経営セーフティネットの活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな漁船の導入により、補修・改修・検査費用等のランニングコストの低減を図ることにより、コスト削減を図る。 <p>これらの取組により漁業コストを0.5%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業セーフティネット構築事業（国） 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） 省燃油活動推進事業（国）</p>

(5) 関係機関との連携

NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター・大阪府立大学との連携を考えている

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	令和元年度：漁業所得 円
	目標年	令和7年度：漁業所得 円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

かき小屋売上向上 10%以上	基準年	令和元年度：220万
	目標年	令和7年度：242万

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

【算出方法】
令和元年度におけるカキ小屋での売上から、事業拡大の計画から勘案して算出

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業 (国)	燃油高騰時に備えることで漁業コストの高騰を抑える。
新規漁業就業者総合支援事業 (国)	後継者・担い手不足を解消するため、希望者には雇用型漁業者から独立型漁業者への支援を行い、魅力ある漁業を推進。
省燃油活動推進事業 (国)	船底清掃を定期的に行うことにより燃費向上を図り、漁業コストの削減ができる。

競争力強化型機器等 導 入緊急対策事業（国）	機関換装により、生産性の向上と燃油費の削減を図る。
水産業競争力強化漁 船 導入緊急支援事業（国）	漁業の協業化及び効率化を図るため、リース漁船を活用し漁 業経費の支出を抑える。